

2024年9月10日

## 第10回 ONE ジャパン ターミナル安全・品質大会を開催

オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン(ONEジャパン)は9月3日、『第10回ONEジャパンターミナル安全・品質大会(阪神大会)』を神戸市で開催しました。ONEジャパン ターミナル安全・品質委員会(委員長:戸田潤代表取締役社長)主催のもと、阪神地区のパートナー会社をはじめとする関係者44名が参加し、各社が実施している安全活動や今後の重点的な取り組み方針を報告しました。



開催にあたり、今回新たに大会委員長に就任した戸田委員長は「上半期は急激な荷動き増加やスケジュールの乱れがありご苦勞をおかけしたかと思うが、パートナー各社の協力があったからこそ積極的な集荷活動ができた。まずはそのことについて感謝を申し上げたい。直近では大きな台風に見舞われた中トラブルなくオペレーションができたのも皆様の努力の賜物であると認識している。この大会を通じ、さらなるオペレーション効率化・品質向上について模索していけたらと思う」とあいさつしました。

大会では、今井久委員(港湾部部長)から、各パートナー会社に向けての今後の協力依頼事項について、また11~12月に行う安全キャンペーンの概要について説明。また、上半期に発生した事故を例に挙げ、原因と再発防止策についての報告が行われました。会の後半には安全活動・事故対応評価に関する中間報告も実施され、上半期における評価点上位3社の発表も行われました。

これらの発表を受け、北村幸一副委員長(取締役 常務執行役員)は「安全・品質大会も今回で節目となる10回目。これも ONE ジャパンの安全活動への取り組みに賛同いただき、ご協力いただけてきたからこそ。これからも、どんなに難しくとも『事故ゼロ』を目指したい」とパートナー各社とともに安全対策に一層力を入れていく決意を示しました。



大会ではグループディスカッションも行われ、安全対策について活発な議論が交わされた

大会の閉会にあたって、森郁雄委員(執行役員・関西支店長)は「『事故ゼロ』を目指すために、引き続き安全に対する意識と活動についてご協力をお願いしたい。また、今後の様々な物流課題を解決していくため、パートナー各社とはユーザーとベンダーという関係を超えた協力関係を築いていきたい」と、本大会を機にさらなる団結を呼びかけました。